

読書のすゝめ

その15

R2

7/20

第163回 芥川賞・直木賞発表！

7月15日に芥川龍之介賞、直木三十五賞の選考会が行われました。

*芥川賞に高山羽根子さん『「首里の馬」(「新潮」3月号掲載)』

*遠野遥さん『「破局」(「文藝」夏季号掲載)』

*直木賞に馳星周さん『少年と犬』

『少年と犬』 馳星周

家族のために犯罪に手を染めた男。拾った犬は男の守り神になった―男と犬。

仲間割れを起こした窃盗団の男は、守り神の犬を連れて故国を目指す―泥棒と犬。

壊れかけた夫婦は、その犬をそれぞれ別の名前で呼んでいた―夫婦と犬。

体売って男に貢ぐ女。どん底の人生で女に温もりを与えたのは犬だった―娼婦と犬。

老猟師の死期を知っていたかのように、その犬はやってきた―老人と犬。

震災のショックで心を閉ざした少年は、その犬を見て微笑んだ―少年と犬。

一匹の賢い犬が様々な人たちを通り過ぎる連作短編集となつてい29。



【受賞インタビューから】
――受賞作では熊本地震、東日本大震災が描かれている。現地を取材したのか。また熊本豪雨について思うことがあればお聞かせ下さい。

「東日本大震災については、震災の後、何カ月も経ってから行ってみて、その惨状に声を失いました。熊本地震ではたまたま取材で四国にいて、ものすごくアラートが鳴った。あとからニュースを見たらひどいことになっていった。自然災害が日常になりつつあると思う。それが僕たち人間の暮らし方に起因しているんじゃないかという思いがあるので、それは今後いろいろなところで書き続けていくんだと思う。俺たち人間はこれからどう生きるべきなのかを考えながら、これからの小説も書いていくと思っています」

図書委員会の活動【蔵書点検中！】

7月9日から図書館内の蔵書点検をおこなっています。

「豆っぴ」でバーコードの読み取りをしています。エプロンに白手袋姿は、すっかり書店員さんになったようです。

21日まで日替わりで担当の図書委員さんが協力してくれます。ご苦労様です！



新着図書

16日に52冊の本が入りました。担当の図書委員さんがすべてブックコートしてくれましたので貸出できます。直木賞受賞作、またノミネートされた本もそろいました。

夏休み中の課題「読書感想文」用に図書館の本を利用してください。



※22日はいよいよビブリオバトルです！